

臨床研究に関するご協力をお願い

研究課題名

慢性痛に対する星状神経節ブロックの分子実体に関する研究

神奈川歯科大学歯科麻酔学分野では、口腔・顔面の慢性疼痛に対する星状神経節ブロックの効果についての研究を行っています。本研究を実施・参加いただくことによる患者様への新たな負担はありません。また途中で研究参加を取りやめていただくことも可能です。その場合であっても、治療内容に不利益が生じることは一切ありません。

歯科麻酔科での診察時に、麻酔科医よりしっかりと説明をさせていただきますので、研究へのご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 対象となる方

神奈川歯科大学附属病院を受診し星状神経節ブロックが適応となった慢性痛の患者様
(20 歳以上)

2. 研究内容の意義と目的

(1)学術的背景：

慢性痛とは、3ヶ月以上続く痛み、あるいはケガが治ったはずなのに1ヶ月以上続く痛みのことをいいます。この慢性痛の背景には、神経そのものの問題(神経障害性疼痛)や、体の痛みを感じる仕組みの変化が原因になっている可能性(痛覚変調性疼痛)があることが知られています。また、ストレスなどの心理・社会的問題も関係していて、なかなか治りにくいとされています。慢性痛の中には、「交感神経」という自律神経が関係している痛みがあります。このような痛みに対して、「星状神経節ブロック」という治療法が広く用いられています。これは、この交感神経の働きを一時的に止める治療法です。多くの患者さんで鎮痛効果を示しますが、なぜこの治療法が効くのか、体の中で何が起きているのかは、実はまだよく分かっていません。

(2)目的：

この研究は、星状神経節ブロックを行うことで、体の中で何が起きているのか理解することで、① 星状神経節ブロックがどんな症状に効果があるのかをはっきりさせること、② 口腔・顔面の慢性痛のメカニズムを解明することを目的に行います。

(3)意義：

この研究は、口腔・顔面における慢性痛の治療法を改善するだけでなく、口腔・顔面における慢性痛についての理解を深めることができると考えています。そうすることで、将来的には患者さんにより良い治療を提供できるようになることを目指しています。

3. 研究の方法(概略)

- ① 歯科麻酔科での診察時に、研究説明および同意書を取得します。
- ② 数種類の質問表と心理テストにお答えいただきます。
- ③ 唾液(あるいは、血液)を採取します。
- ④ 星状神経節ブロックを行います。
- ⑤ 15 分後にもう一度、唾液(あるいは、血液)を採取します。

4. 研究期間

データ解析を含む全体の研究機関:2024 年 6 月 14 日~2026 年 3 月 31 日

(対象患者募集期間:2023 年 8 月 10 日~2026 年 3 月 31 日)

5. プライバシーの保護について

本研究で得られた個人情報等は、匿名化された状態で、鍵のかけることができる場所にて保管・管理を行います。研究全体の終了日から 5 年を経過した日又は該当研究結果の最終の公表について報告された日から 5 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間まで保管します。それ以降に関して、本研究に関する情報のすべては、紙媒体はシュレッダーにて、電子媒体等はデータを完全消去させるツールを用いてそれぞれ廃棄します。可能ならば物理的破壊も行います。

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等は、下記までお問い合わせください。

研究代表者:黒田 英孝

神奈川歯科大学麻酔科学講座歯科麻酔学分野

〒238-8570 神奈川県横須賀市小川町 1 番地 23

TEL:046-822-8810 FAX:046-822-8888

※麻酔科術前診察時に、当院歯科麻酔科医から、
本研究内容に関しては、丁寧にご説明させていただく予定です。